

令和2年度 各会計の決算認定

歳出総額で71億2976万円

9月
定例会

9/8

9/14

特別会計の決算は歳入で17億4884万円、歳出で16億8203万円になり、前年度に比べ歳入で1億5881万円の減、歳出で1億6008万円の減となりました。

特別会計歳出合計は
16億8203万円

令和2年度一般会計の決算は、歳入で58億9414万円、歳出で54億4773万円になり、前年対比では歳入で11億2537万円増、歳出で10億7694万円増となりました。翌年度に繰り越すべき財源を除き、実質収支額は3億6168万円の黒字となりました。

一般会計歳出は
54億4773万円

9月定例会は令和2年度各種会計決算に係る報告4件、承認1件、認定6件のほか、令和3年度各種会計補正予算など議案14件が提出されました。

■各会計の決算状況■

(下段は前年度の金額 単位：万円)

会 計 別		歳 入	歳 出	歳出前年増減額 及び増減率
一般会計		58 億 941 46 億 8404	54 億 4773 43 億 7079	10 億 7694 24.6%
特 別 会 計	国民健康保険	8 億 1636 9 億 47	7 億 8250 8 億 6062	▲7812 ▲9.1%
	簡易水道事業	1 億 5095 2 億 1361	1 億 4862 2 億 1049	▲6187 ▲29.4%
	農業集落排水事業	1 億 1496 1 億 1879	1 億 1356 1 億 1739	▲383 ▲3.3%
	後期高齢者医療	5922 6247	5852 6186	▲334 ▲5.4%
	介護保険事業	6 億 736 6 億 1230	5 億 7883 5 億 9175	▲1292 ▲2.2%
合 計		75 億 5825 65 億 9169	71 億 2976 62 億 1290	9 億 1686 14.8%

※表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計などの計算が一致しないことがあります。

監査委員の決算審査意見(抜粋)

- ①村税の徴収率は向上しているが、今後も徴収率向上に努め安易に債権を消滅させることのないよう厳正に対処し、債権管理の適正に努めること。
- ②経常収支比率は84.1%（前年度より3.3ポイント減少）で財政の弾力性の標準75%を超えており、財政構造は硬直化の傾向にある。経常経費の抑制、費用対効果の検証、効率的な財政運営に努めること。
- ③財政健全化審査及び公営企業資金不足比率審査は、それぞれの指標とも基準値を下回り健全である。なお一層の計画的な財政運営、適正な水準の維持に努めること。

平田村代表監査委員 関根 猛 ・ 平田村監査委員 上遠野廣一

令和2年度は こんなことに使われました

こども園建設事業

こども園建築工事・管理業務委託料
調理器具等整備・備品整備

4億3730万円



新型コロナウイルス感染 予 防 対 策 事 業

特別定額給付金支給事業 **5億9874万円**

プレミアム商品券発行事業 **2327万円**

一時避難所環境整備支援金 **1192万円**

中型バス(35人乗り)購入 **2233万円**

水稲農家支援事業 **1042万円**

林業振興事業

森林環境交付金事業・松くい虫防除事業
ふくしま森林再生事業

7014万円



災害対策事業

台風19号豪雨に伴う災害復旧事業
台風19号豪雨被災農機具購入補助 等

道路橋梁災害復旧費 **1億3330万円**

農地災害復旧費 **8340万円**

農機具購入補助 **3161万円**

社会教育施設災害復旧費 **908万円**



村に「米価下落対策を求める要望書」
を提出

人口減少に伴う全国的なコメの需要減に加え、新型コロナウイルス感染拡大による業務用米などの消費低迷の影響で、米の在庫が積み上がり、その圧力で令和3年産米価が大きく下落しています。

また、今夏の低温等の影響により穂いもち病が蔓延し、収穫量の減少や等級落ちが避けられない状況です。

昨年より下落価格が大きい状況を踏まえ、農業者が営農意欲を失うことなく、持続的に水稲経営に取り組めるよう昨年以上の支援策について検討するよう10月4日、澤村村長へ要望書を提出しました。